



本物を知る・本物を感じる・本物から学ぶ

本日、1・2限を使って1年生を対象に「アスリート派遣等による体育授業」を実施しました。これはスポーツ庁の委託事業としてアスリート・パラアスリートを学校の体育授業に派遣することにより、子どもたちが、アスリートとの直接的な触れ合いの中でわかる・できるを感じ、運動の多様な楽しみ方やできる喜びを味わうことを通して、望ましい運動習慣の形成など、体力・運動能力の向上に役立つように体育授業等の充実を図る目的で実施されているものです。みんなに本物のすごさを体感することで夢をもって進んでいく力を身に着けてほしいとの思いで申し込み、派遣していただくことになりました。今回は内容や人数の関係で1年生全員となりました。今回来ていただいたアスリートは筏井 りさ（いかだい りさ）さんです。筏井さんは元プロサッカー選手としてジェフ千葉ユナイテッドレディース、浦和レッズレディースで活躍されました。2018年からフットサルに転向し、現在はバルドラー浦安ラスボニータスに所属されています。全日本選手権2連覇の中心選手として結果を残し、日本代表にも選ばれている選手です。始めは簡単な準備運動やボール遊びを行い、慣れてくるとキックの練習や2対1の攻防などを行いました。最後はゲーム。盛り上がっていました。



ゲームの様子

筏井選手も一緒に試合をしてくれました。

ゲームの後は体育館に移動し、映像を見ながら、実際のフットサルの試合の様子や簡単なルールなどを教えていただきました。筏井選手のお話の中で「サッカーで日本代表になるという夢は叶わなかった。そして29歳でフットサルの世界に。厳しいことも多かった。不安もたくさんあった。しかし今があるのは**努力というかっこいい言葉ではなく、今できることは何かを考え、一つずつやってきたおかげだ**と思う。」というお言葉が印象的でした。そして1年生にも夢をあきらめず、今できることに挑戦していくほしとのメッセージを頂きました。本当にありがとうございました。

